

ニュースレター ぶどうの木



第22号

2023年12月

待降節
&
降誕節

クリスマス
おめでとうございます！



「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。
人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。」
(ヨハネ福音書15章5節)



この写真は、ドイツのテュイネというオランダに近い小さな村(町)にある、私たちの修道会の本部修道院聖堂に飾られる、大きなプレゼピオです。庭から採ってきたコケを敷き詰め、さらに新鮮な香りを放つ松の木を何本も立てて準備し、そこに美しい石膏の大きな聖像が飾られて、観る人たちの心を別世界に連れて行ってくれます。

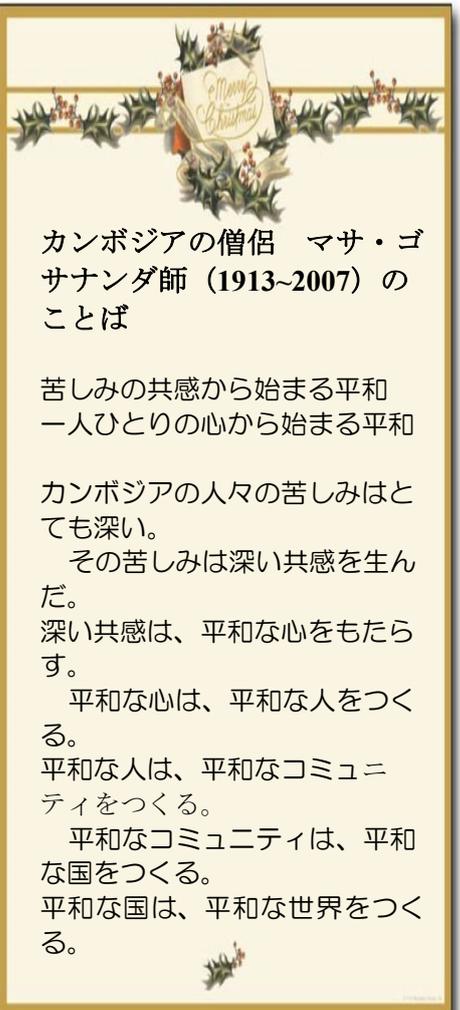
12月の初めから待降節という約4週間のクリスマス準備期間を過ごして迎えるクリスマス。子供にとってはばかりではなく、大人にとっても心が少し浮き立つ季節です。

しかし、この美しい季節にも世界で戦争が行われているのは、何という悲劇でしょうか。馬ぶねの中で愛

らしい笑顔で人々を迎えるみどり子イエス様は、この今の世界の状況をご覧になって、どれほど心を痛めていらっしゃるのでしょうか。幼きイエス様は、この時すでに30数年後に十字架の上で苦しむご自分の姿をご覧になっているように思います。

戦場となった故郷で逃げ惑う大人や子供たち。我が家が無残に爆撃されて廃墟となってしまった人々。愛する人の亡骸を瓦礫の下に探す人々や、息絶えた小さい我が子を抱きしめて泣く親たち。

敵も味方も両方が、このような悲劇を味わう愚かな戦争。今年のクリスマスに、少しでも平和のために祈ることを忘れないようにしましょう。
(Sr.永田 淑子)



カンボジアの僧侶 マサ・ゴサナンダ師 (1913~2007) のことば

苦しみの共感から始まる平和
一人ひとりの心から始まる平和

カンボジアの人々の苦しみはとても深い。

その苦しみは深い共感を生んだ。

深い共感は、平和な心をもたらす。

平和な心は、平和な人をつくる。

平和な人は、平和なコミュニティをつくる。

平和なコミュニティは、平和な国をつくる。

平和な国は、平和な世界をつくる。

「いと高き天においては神に栄光、地においては御心にかなう人々に平和」 (ルカ 2:14)



「これらのわたしの兄弟、しかも最も
小さな者の一人にしてくれたのは、
わたしにしてくれたことなのである」
(マタイ25:40)

これはイエスが十字架につけられる2日ほど前に、弟子たちに語られた最後の審判についてのお話の中の、最も重要なお言葉です。私たちがそれぞれの人生の最後に神から問われるのは、何なのでしょう？ どれだけ頑張って成功したか？ どれだけ財産を蓄積したか？ どれだけ名誉ある地位に就いたか？ 等々でしょうか？
イエスはこのようなことは人生究極の価値として、何らの意味も与えていません。イエスが私たち一人ひとりに最後に求めることはただ一つ、「苦しんでいる人、助けを必要としている人に、助けを与えたかどうか」だけなのです。しかも、それはその人にしたことだけではなく、それはすなわち、イエスに対してしたことなのである、とまで言われるのです。

空腹の人に食べものを与え、渇いている人に水を飲ませ、病んでいる人を見舞い、着るものがない人に着るものを与え……。一人ぼっちでいる人にそっと寄り添い、悲しんでいる人を慰め、…等々。

最後の審判、もしくは各自の死後に神様の前に出る時に、これらのことに対する神様からの感謝のお言葉をいただき、イエスにしてくれたこととして最高の報奨として神の喜びに招かれます。そして呆気にとられている本人に、イエスから言われる言葉が上記のことばです。

これこそ、20世紀後半の偉大な聖女マザー・テレサの生きられた道の真髄です。道端に倒れている人、その人は彼女にとってイエスその人なのです。彼女はその人を見て見ぬふりをすることができません。

今、日本において子どもたちの生きている世界、そして大人たちの人間関係などの中で、冷たい関係が支配している場合があります。子供たちが本当の愛情を知らずに成長するのは、余りにも可哀想です。

これから私たちは、人間として誰でも必要としている幸せの条件ウェルビーイング(Well-being)を社会に醸成して行くために、イエス様と一緒に歩んでまいりましょう。

クリスマス教会で共に過ごしてみませんか！

12月24日(日) 19:00 カトリック北11条教会
18:00 カトリック北26条教会
18:30 カトリック花川教会
12月25日(月) 11:00 カトリック北11条教会
11:00 カトリック北26条教会

是非、この機会を大切に本当のクリスマスを体験してみてください。



Pope Francis_@Pontifex

**教皇フランシスコのX
(Twitter)より**

At this historic moment, we are called to take responsibility for the legacy we will leave behind after our time in this world. If we do not act now, climate change will increasingly harm the lives of millions of people. #COP28



クリスマス・ミサへのお誘い

コロナも落ち着き、生活が普通に戻って来ました。今年のクリスマスは、4年ぶりにそれぞれのキャンパスで人数制限などもなく、クリスマスのミサを行います。どうぞ多数ご参加ください。

- ◇ 北16条キャンパス: 12月19日(火)
ミサ & オルガン・コンサート
ミサ 13:00 (約1時間)
コンサート ミサ後 (演奏は 大野敦子様)
- ◇ 花川キャンパス: 12月20日(水)
ミサ 13:00

マスク着用の上、どなたでも多数お越しください。